

ほけんだより 9月

令和3年9月1日
横浜市立大豆戸小学校
保健室

緊急事態宣言が発令している中ですが、分散登校が始まりました。現在流行しているデルタ株は、ウイルスの排出量は従来株の1200倍、感染力は従来株の2倍、インフルエンザの3倍とも言われ、子どもへの感染も広がっています。爆発的な感染拡大を踏まえ、改めて感染予防のための取組を徹底していきます。ご心配をおかけしますが、どうぞご協力をお願いします。

【家庭にお願いしたこと】

○健康観察の徹底

わずかな風邪症状(咳・喉の痛み、頭痛、発熱、腹痛、倦怠感等)でも、検査をしてみると陽性であることがあります。子どもは無症状で陽性の場合もあります。本人や同居の方に風邪症状が見られる場合には登校を控え、医療機関を受診するようお願いします。

毎日の健康観察をきちんと行っていただき、登校の際は、健康観察票(ピンク色)を忘れずに持たせてください。

※登校後、発熱や風邪症状などがお子さんに見られた場合には、緊急連絡先に連絡しますので速やかにお迎えをお願いします。学校で経過観察はしませんのでご協力ください。緊急連絡先に変更がある場合には、学級担任までお知らせください。



○マスク着用の徹底



ウイルスの吸い込みを防ぐには、自分の顔の形に合うマスクを正しく着用し、かつ自分と相手双方が着用していることが必要です。なお、布やウレタンよりも不織布のほうが飛沫拡散・防止には効果が高いとの研究結果があります。学校内では不織布マスクを使用することを推奨します。(教育委員会ガイドラインより) ただし、熱中症リスクが高まる激しい運動時にはマスクを外すこともあります。

【学校での感染症対策の一例】

- 手洗いの徹底・手指のアルコール消毒
- 児童下校後の校内の消毒
- 効果的な換気(CO2 測定器使用)
- マスク着用の徹底
- 登校時の非接触型体温計による検温
- 前向きでの給食・黙食
- 感染リスクの高い活動の一時停止

